

安全報告書

2019



秩父鉄道株式会社

1. 経営責任者からのメッセージ
2. 輸送の安全に対する基本方針と安全目標
3. 安全管理体制と方法
4. 輸送の安全への取組
5. 安全確保のための教育・訓練
6. 鉄道事故等に関するご報告
7. ご利用のお客様、地域の皆様とともに

1. 経営責任者からのメッセージ

「安全報告書2019」の公表にあたって

秩父鉄道株式会社
代表取締役社長 大谷 隆 男

日頃より、秩父鉄道をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。埼玉県北部の公共交通機関として「安全・安心・安定」を実現できる鉄道事業者としてあり続けることが大きな使命であり、輸送の安全と無事故無災害を達成すべく、全役員・従業員一人ひとりが取り組んで運転無事故を継続して、国土交通省関東運輸局長より鉄道等の運転無事故事業者として表彰されました。2018年も引き続き国と埼玉県、沿線市町からの支援を受けて、



駅の信号装置の更新や重軌条化、コンクリート枕木他の安全対策工事を推進いたしました。

また、2018年10月20日には永田ー小前田駅間に37番目の旅客駅として「ふかや花園駅」を開業いたしました。当社の沿線地域においては、居住人口の減少や少子高齢化の進行により、労働人口の不足による人材の確保も大きな課題となっており、従業員の教育訓練等の充実を図りつつ「働き方改革」への取り組みも行い、今後も皆様方に安心してご利用いただける鉄道を目指して安全輸送に努め、沿線の魅力を高める施策に自治体や同業他社等と協力して取り組んでまいります。本報告書は鉄道事業法に基づき、2018年度における安全輸送のための取組や輸送の実態を紹介するために発行いたしました。皆様方の声を、今後のより一層の安全性向上に役立てるため、率直なご意見とご感想をお聞かせいただけると幸いです。

2. 輸送の安全に対する基本方針と安全目標

(1) 基本方針

『輸送の安全確保、無事故・無災害の達成』を最優先とし、社員一人ひとりが行動するための基本方針を、「安全行動規範」として全社員に周知しています。

「安全行動規範」

- ① 一致協力して輸送の安全確保に努めます。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規定をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正忠実に職務を遂行します。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

(2) 安全目標

さまざまな安全性向上施策に取り組むため「安全行動規範」を遵守し、社内に安全風土、安全文化を構築、確立し、安全最優先の原則を遵守、徹底します。

“スローガン”「責任事故・重大インシデント^{ゼロ}」の継続

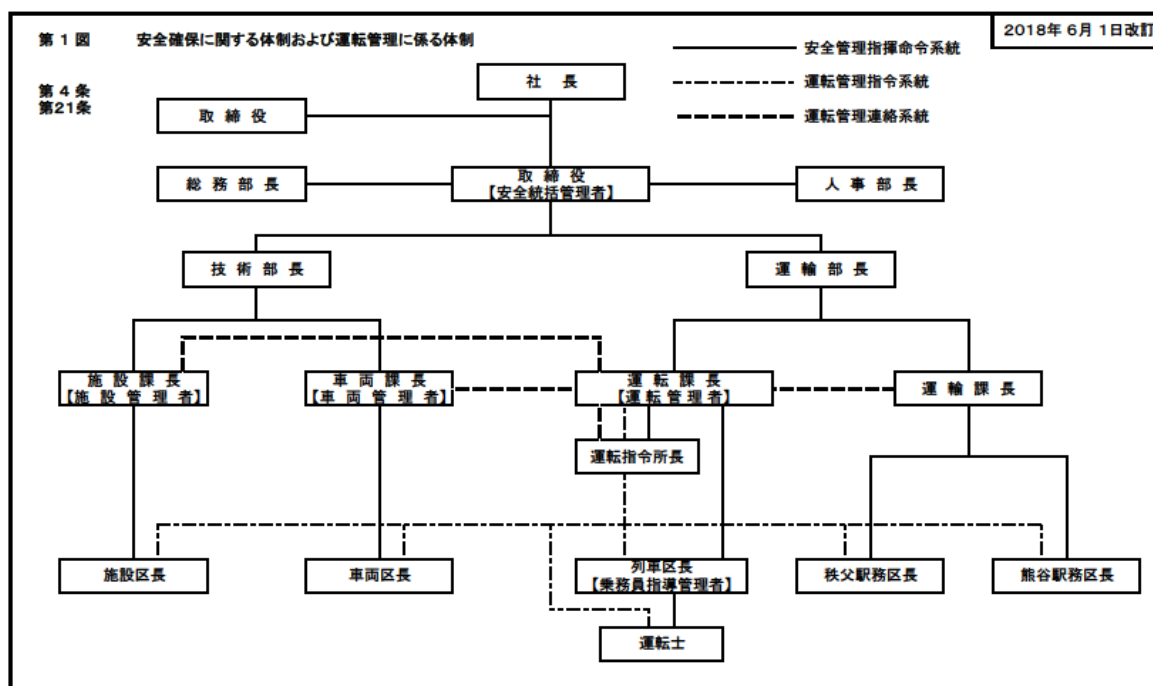
3. 安全管理体制と方法

(1) 安全管理体制

2006年10月1日に制定された「秩父鉄道 安全管理規程」では、社長を最高責任者とし、社長が選任した安全統括管理者のもと、安全推進の管理体制を確立し、各管理者の役割と権限を明確に定めています。

役 職	役 割
社 長	安全第一の意識をもって事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、輸送の安全を確保するための最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
技 術 部 長	安全統括管理者の下、施設、車両に関する業務を統括する。
運 輸 部 長	安全統括管理者の下、運転に関する業務を統括する。
運 転 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	運転管理者の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
施 設 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車 両 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
総 務 部 長	輸送の安全の確保に必要な設備投資、財務に関する事項を統括する。
人 事 部 長	輸送の安全の確保に必要な人事に関する事項を統括する。

(組 織 図)



安全管理の方法

① 運転事故防止対策委員会

輸送の安全確保を目的に、鉄道全般にわたる事故防止、災害防止、テロ対策等、安全



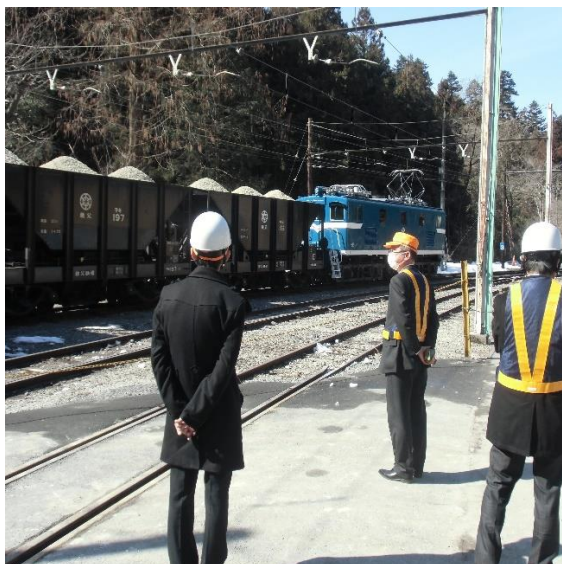
施策に関し、安全統括管理者を委員長とする「運転事故防止対策委員会」を毎月1回開催し、輸送障害、事故、不具合等が発生した場合の多面的分析、再発防止施策の立案、審議、ヒヤリハット報告事項等の対策を検討し、その処置の確認等を行っています。昨年度よりヒヤリハット報告の内容をリスクレベル化し、リスクに応じた対応に取り組んでおります。また、年2回同委員会

で現業職場において適切に業務がおこなわれているか点検するための安全指導（巡

回・列車添乗・職場訪問）を実施し、現業職場の実態の把握に努めています。
(経営トップ・安全統括管理者出席の運転事故防止対策委員会の様子)

② 職場巡視

安全性の向上と一人ひとりの安全意識の高揚を図る目的で、夏季運転無事故運動、年末年始輸送安全総点検の運動期間中、社長、役員、各部課長が現業職場を巡回訪問し、現業所属員と直接対話を行い、安全に関する取り組みや実作業を視察し安全意識の高揚を図っております。



年末年始輸送安全総点検職場訪問



夏季運転無事故運動 駅務区職場巡視

③ 内部監査

鉄道輸送の安全に関し、関係各部署の安全管理体制の取組が構築され、なおかつ適切に運用・機能しているか確認することを目的としています。また、継続的になされているかを確認しております。



(経営トップ・安全統括管理者・運転管理者とのインタビュー風景)

監査の実施としては、社長(経営トップ)をはじめとする経営管理部門へのインタビューのほか、現業職場長に対し安全管理規定、その他の規定等に適合した業務の遂行を確認し、是正・改善するなど PDCA サイクルが適切に機能しているか社内診断を引続き行いました。

4. 輸送の安全への取組み

2018年度も列車運行の安全性の確保・維持と改善、旅客サービスの向上のため、安全対策、修繕工事を実施しました。これらのうち主な安全への取組みについてご紹介いたします。

安全重点施策

2018年度の安全対策工事と主な修繕費

安全対策更新工事	293,551千円
主な線路修繕工事	128,083千円
主な電気修繕工事	32,417千円
主な車両修繕工事	62,720千円
計	516,771千円



(1) 2018年度の安全対策工事

施設関係

① 継電連動装置の更新

羽生～三峰口駅間の31駅に連動装置が設置されています。2007年度から経年が進んでいる箇所より順次更新を進めております。2018年度は野上駅を更新いたしました。今後も計画的に更新を進めてまいります。

② 重軌条化工事

羽生～三峰口駅間では37kgレールを使用している区間があり、各駅間より順次50

Nレールへの重軌条化を進め、軌道偏位の防止、乗り心地の向上を図っています。2018年度は約0.830kmの重軌条化をいたしました。

③ コンクリート枕木化

列車が高速で走る区間や貨物列車を運転している区間から順次木枕木をレールの締結力が強いコンクリート枕木に交換し、レールの劣化を防ぐとともに乗り心地の向上を図っています。2018年度は1,858丁のコンクリート枕木に交換しました。今後も計画的に進めてまいります。

④ 並・分岐・橋・継目枕木交換

経年劣化した並枕木、分岐枕木、橋枕木、継目枕木3,802丁の交換を実施しました。

⑤ 軌道整備

道床碎石を930t補充のうえ、マルチプルタイタンパーによる軌道整備を84,214m実施しました。

⑥ 踏切道の安全性向上

2018年度は第1種踏切の2ヶ所に支障報知装置（押しボタン）を設置し、踏切道の安全性向上を図りました。

⑦ 踏切保安設備の主要機器の更新

秩父本線と三ヶ尻線の第1種踏切道の既設踏切保安装置について、経年した踏切遮断機41台の更新を実施しました。

⑨ 架線の張替

摩耗や経年劣化が進んだ吊架線2,397mの張替えを実施しました。また、経年磨耗した電車線を1,153m張替えました。

(2) 車両関係

① 2018年度の主な車両修繕工事

62,720千円

② 2018年度の車両機器更新

2018年度も引き続き電気機関車の主電動機・電動発電機・送風機の絶縁低下による故障防止を図るため、更新工事を行いました。ぎ装線及び非常用蓄電池も経年劣化しているため更新を行いました。さらに電車については、5000系のSIV装置及び7500系の制御装置並びにSIV装置の更新工事を行いました。今後も、経年劣化に対応すべく計画的に進めてまいります。

5. 安全確保のための教育・訓練

(1) 現業職場における各種訓練

各現業職場において、夏季運転無事故運動など年4回実施される運動期間中に車両応急処置訓練、高所作業訓練、乗務員教習等を実施する他、鉄道技術講座の受講（施設関係・車両関係）や外部機関より講師を招いての研修会（軌道管理手法）等、係員の知識向上の維持と向上を目的として取り組んでいます。



出庫点検訓練の様子



単独1年次教習訓練の様子



異常時訓練風景



降雪対応屋根上訓練風景



他社見学風景



新入社員運転取扱実施基準学習会

(2) 異常時総合訓練

この訓練は、踏切事故等重大事故が発生した場合を想定して、お客様の避難誘導、関係箇所への連絡速報体制、負傷者の救出と復旧作業等、異常時における知識・スキ

ルの向上を目的として2018年10月30日に当社技術部・運輸部及び埼玉県熊谷消防本部員による合同異常時総合訓練を実施しました。



異常時総合訓練挨拶



参加者及び消防本部員



事故復旧本部



現地責任者と列車運転士



列車運転士による列車防護



駅係員とレスキュー隊連携による負傷者救出訓練



施設復旧責任者と現地責任者の打合せ



載線訓練風景

(3) 防災訓練（減速運転・異常時出動訓練）

毎年、9月1日の防災の日または防災週間に大きな地震が発生したことを想定して、列車の減速運転、関係個所への情報伝達を行い、橋梁等の施設点検を現地に出動し確実な安全作業が行えるよう訓練を実施しています。



点検を指示する運転指令所員



電気設備を点検する施設班員（電気班）

6. 鉄道事故等に関するご報告

2018年度に発生した「鉄道運転事故」「輸送障害」「インシデント」の発生件数は以下のとおりです。

「鉄道運転事故」 4件（踏切障害事故）

* 鉄道運転事故とは、列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故、踏切障害事故、道路障害事故、鉄道人身事故、鉄道物損事故をいいます。

「輸送障害」 16件（うち自然災害その他4件）

* 輸送障害とは、列車の運転を休止したもの、または、30分以上の遅延を生じたものをいいます。

「インシデント」 2件（施設障害1）（車両障害1件）

* インシデントとは、運転事故が発生する恐れがあると認められた事態をいいます。

7. ご利用のお客様、地域の皆様とともに

(1) サービス介助士資格の取得

社会の高齢化が進む中、多くのお客様に対して安心して鉄道をご利用いただけるよう、職員のサービス介助士資格の取得を推進しております。2018年度までに駅係員、列車乗務員、その他含め67名が資格を取得しました。

(2) AEDの設置

秩父鉄道では、お客様の急病等万一の事態に備え羽生、熊谷、明戸、武川、永田、小前田、寄居、長瀬、秩父、御花畑駅にAED（自動体外式除細動器）を設置しています。

(3) こども110番の駅

通学や学習塾などに通うため鉄道を利用するお子さまが、より一層安心して駅を利用することができる環境作りを目指し「こども110番の駅」の取組に参加しています。こどもを危険から守り、安全な地域づくりに貢献することを目的に積極的に推進していきます。

(4) 埼玉県防犯のまちづくりに関して

秩父鉄道では「埼玉県防犯のまちづくりに関する協定」に基づき、子供や高齢者等を犯罪から守るための見張り活動、犯罪や不審者の認知時の積極的な110番通報等について、更なる協力を行うために次の取り組みを宣言しております。

◇駅（事業所）に助けを求めてきた場合に保護、110番通報等の対応を行います。

◇社用車を運転中に犯罪を認知した場合に110番通報等の対応を行います。

本安全報告書に関するご意見、お問い合わせ等のご意見を承っております。

次回作成の参考といたく、お寄せくだされば幸いです。

秩父鉄道株式会社 運輸部 運転課

☎ 048-523-3871

秩父鉄道公式ホームページ

<http://www.chichibu-railway.co.jp/>

